

2018 年 10 月 11 日

○ 10月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の設楽でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。
- まず始めに、原子力規制庁の評価対象となる原子力防災訓練の実施についてです。

今月2日、当発電所、新潟本部、本社の計約440人が参加し、今年度の評価対象となる原子力防災訓練を実施いたしました。

今回は、今年3月に実施した防災訓練に対する原子力規制庁の評価を踏まえ、特に「原子力規制庁への情報共有」という点を重視して改善を図り、訓練を行いました。

具体的には、本社と発電所に直接連絡を取り合うホットライン役を専任として配置することや、電源確保や原子炉への注水状況、今後の対応方針等の情報を共有するツールを改善するなど、情報共有の体制を強化いたしました。

このたびの訓練にあたっては、改善計画でお示しした通り、力量の高い要員を中心としたチームで訓練を行ってまいりましたが、今後は、そのチームの力量を各機能班に水平展開するなど、計画した改善策をしっかりと実行してまいります。

そして、訓練と改善を積み重ねていくことで、有事における発電所全体の対応能力向上を図り、地域の皆さまにご安心いただけるよう取り組んでまいります。

- 次に、安全決起大会の開催についてです。

今月 23 日に、発電所構内において安全決起大会を開催いたします。この大会は、発電所で働く職員が人身災害の発生防止を誓い、安全意識の高揚を図ることを目的として、年に 1 度開催しているものです。

今回の大会には、当社社員約 100 名と協力企業の方々約 500 名の、あわせて約 600 名が参加する予定です。

今後も、発電所で働く一人ひとりが安全に対する一層の高い意識を持ち、当社と協力企業が一体となって、災害のない発電所作りを目指してまいります。

- 最後に、サービスホールにおける秋のイベントについてです。

今月 20 日、21 日の二日間で、当発電所のサービスホールにおいて、秋のイベントを開催いたします。今回は、地元中高生の吹奏楽部による演奏会も予定しており、その他にも、ハロウィンに関連したイベントや発電所見学ツアー等の催しを用意しておりますので、多くの方々にご来場いただければと思います。

このようなイベントの機会に、サービスホールへ気軽にご来館して楽しんでいただきながら、私どもの発電所の取り組みや原子力発電について、知っていただくきっかけとなればと考えております。

- 本日、私からは以上です。

以上